

勝部市長の

お仕事百景

シリーズで勝部市長の仕事を紹介しします



6/11 奥州市でILCシンポジウム

期待が高まる国際リニアコライダー（ILC）誘致。どの段階で何を優先してやるかを戦略的に進めること、第1次産業との関係を重視すべきことを強調しました。また、地元食材を使った外国人向けの食事メニューの研究や、資源・エネルギーがエリア内で循環するシステムをつくることなどを提案しました。



6/12 千厩で消防操法競技会

県消防協会一関地区支部の「消防操法競技会」が一関東消防署で行われました。一関と平泉の18チームが県大会出場を目指し訓練してきた成果を披露しました。消防操法訓練は消防活動の基本であり、地域社会の安全・安心にとって不可欠なもの。消防団員の日頃の活動に感謝です。



放射線に関する

Q&A

●本庁放射線対策課 ☎ 8331

Q. 市内で空間放射線量が高いところはまだあるの？

A. 福島第一原発事故から5年が経ちました。市内の生活空間の空間放射線量は、除染と放射性物質の半減期により、事故当時と比べると大きく低減し、健康に影響を及ぼさないレベルになっています。ただし、場所によっては「ホットスポット」という局所的に空間放射線量の高いところはまだあります。

市は、平成25年度の測定で確認した一般住宅・事業所のホットスポットについて、地域の皆さんに協力してもらいながら、低減対策を進めてきました。測定から3年が経過したことから、現時点で解消されていないホットスポットの現状を確認するため、随時、再測定をしています。再測定は、本年度中に完了する予定です。

1 高齢者向け給付金の申請は早めに

受け付け終了間際は、窓口や駐車場が混雑します。未申請の人や対象と思われる人は、早めに申請してください。
 ◇対象…27年度市民税（均等割）が非課税の人で28年度中に65歳以上になる人 *住民税課税者に扶養されている人や生活保護受給者は除く
 ◇給付額…対象者1人当たり3万円（1回限り）
 ◇申請期間…7月29日⑤まで
 ◇申請方法…所定の申請書を郵送または本庁長寿社会課または各支所保健福祉課へ
 ●本庁長寿社会課 ☎ 8357

2 いちのせきファンクラブ「あばいんクラブ」に89人が入会

27年度にいちのせきファンクラブ「あばいんクラブ」へ加入した人は、89人でした。宮城県と関東地方の都県から多くの人が入会し、本市の魅力に触れています。
 この事業は、移住定住事業の一環として25年度にスタートしました。本市を身近に感じてもらうことを目的に、本市の情報を発信。全国のいちのせきファンの皆さんに特典などを届けています。これまでの延べ会員数は430人。50人が3年間継続して会員となっています。本年度もファンを拡大するため、事業を継続して行います。

●本庁いきがづくり課（合同庁舎内） ☎ 0820

3 国民年金保険料の納付に困ったときは

◇適用期間・種類…28年7月～29年6月分・下記①～③
 ①納付が困難な人の免除制度…所得に応じて保険料の全額または一部の免除が認められます。一部免除の場合、減額した保険料の納付が必要です
 ②納付猶予制度…本人と配偶者の所得が、一定以下の20歳～49歳の方は保険料を後払いにできます。 *対象年齢が従来の30歳未満から拡大（7月から）
 ③失業の特例…本人、配偶者、世帯主のうち、27年1月1日以降に失業した人がある場合、雇用保険の受給資格者証または離職票を持参してください
 ◇過年度の申請…2年前までさかのぼって、申請が可能です *②は30歳未満の人に限り
 ◇申請期間・場所…7月1日⑤～・本庁国保年金課または各支所市民課
 ●本庁国保年金課 ☎ 8324 または各支所市民課

4 28年度の市水防訓練を実施します

午前8時、市内一斉にサイレンを鳴らします。また、県防災ヘリコプターが飛来します。火災などと間違えないように注意してください。
 ◇日時…7月3日⑤ 9:30～14:00
 ◇場所…磐井川河川緑地公園（磐井川左岸、上の橋下流河川敷）
 ●消防本部消防課 ☎ 0119

INFORMATION

高齢者及び障がい者にやさしい住まいづくり推進事業費補助金

●本庁長寿社会課 ☎ 8370 または各支所保健福祉課

要支援・要介護と判定された人などが、在宅で生活するために必要な住宅改修工事を行う場合、補助金を交付します。

◇補助対象…29年3月までに竣工（完了）する①手すりの取り付け②段差の解消③トイレの洋式化④浴室の改良一などの工事
 ◇対象者…要支援・要介護と判定された人または身体障害者手帳（第1～3級）1級～3級の人
 ◇補助金額…対象工事費から1人につき20万円を控除した額の3分の2（上限は40万円）
 ◇募集件数…13件 *件数が多い場合、補助を受けられない場合あり
 ◇申し込み…7月4日⑤～22日⑤

29年市成人式の企画実行委員を募集

●本庁いきがづくり課（合同庁舎内） ☎ 0820 / FAX ☎ 0566 / 電子メール ikigai@city.ichinoseki.iwate.jp

29年1月に行う成人式の企画や運営を行う委員を募集します。

◇活動期間…8月～29年1月の19:00～21:00（月1、2回）
 ◇場所…一関文化センターなど
 ◇対象…平成8年4月2日～9年4月1日生まれの人
 ◇申し込み…7月22日⑤まで

市花いっぱいコンクールに参加してください

●本庁まちづくり推進課 ☎ 8671

①フラワーロード（沿道花壇）部門②一般花壇部門③まちなか部門一の3部門を募集します。
 ◇申し込み…7月1日⑤～22日⑤に所定の応募用紙を本庁まちづくり推進課または各支所地域振興課へ *審査は8月に行います

介護保険負担割合証を更新します

●介護保険課（一関地区広域行政組合） ☎ 3223

介護サービスを利用するときの自己負担割合を証明する「介護保険負担割合証」の有効期限は7月31日⑤です。8月1日⑤から使用できる新しい負担割合証を、7月中旬に郵送します。対象は介護認定を受けている人で、更新のための申請は不要です。

伝統を守る熱意と使命感を持つ「東山和紙」紙すき職人を募集
 「東山和紙製造技法」は、平泉・藤原文化の遺産として約800年前から東山地域に伝わる市指定の無形民俗文化財です。東山和紙は、自然の色合いと素朴さが特徴。寒紙とも呼ばれ、寒さの厳しい冬期間に紙すき作業が行われます。

紙すき職人を養成します。市は、伝統技法を守り次世代へ継承するため、職人を養成します。紙すきに必要な知識や技術は、講座で学びます。自然との対話をしみながら、手すき和紙1枚1枚に命を吹き込みませんか。
 ◇対象…①市内に居住する②10月～29年2月に行う4回の講座全てを受講できる③29年4月から2年間の研修を受講できる④を全て満たす人
 ◇人数…3人
 ◇選考方法…面接
 ◇費用…無料
 ◇申し込み…7月29日⑤まで住所、氏名、連絡先



を電話、ファクスまたはメールで
 ●東山支所産業経済課 ☎ 4525 / FAX ☎ 2118 / 電子メール nihageizai@city.ichinoseki.iwate.jp

ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）は
 県内外の皆さんから「ふるさと応援寄付金」に多くの寄付をいただきました。28年3月までの寄付金の合計額は、7198万4803円。寄附の総数は、延べ565件（団体などを含む）です。26年度と27年度の寄附の件数は、いずれも100件を上回りました。27年度は①文化財標柱・解説板整備事業②若者地元就業定着支援事業③中学生最先端科学体験事業④JFAこころのプロジェクト
 ●国民体育大会選手

強化指導者育成助成事業⑥英語の森キャンパス事業―の各事業に848万円余りを活用しました。
 皆さんから預かった寄附金は「ふるさと応援基金」に積み立て、28年度は、女性キャリアアップ支援事業など6つの事業に750万円を活用する予定です。寄附をいただいた人には、市の特産品などを贈呈しています。詳しくはホームページで確認してください。
 ●本庁いきがづくり課 ☎ 0820

寄附金の状況（20年6月27日～28年3月31日）

メニュー	件数	金額
ふるさとと歴史と自然を大切に事業	95件	591万2,000円
ふるさとと産業を元気に事業	90件	488万2,000円
ふるさとと子どもと高齢者の笑顔が輝く事業	139件	996万3,000円
ふるさととスポーツと文化を育む事業	27件	1,435万円
その他市政の推進に資する事業	19件	1,953万1,000円
市長が使い道を決められるもの	195件	1,734万6,803円
合計	565件	7,198万4,803円

ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）は 565件・7198万円